

分 担	指 導 上 の 留 意 点	反 応 ・ 評 価
<p style="text-align: center;">S T</p> <p>1. OHPにより、学習のねらい、運動方法を理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体 操 <ul style="list-style-type: none"> 腕の挙伸・回旋、あしの屈伸、体の前後屈、開閉とび、うさぎとび ・腕立てとび越し <ul style="list-style-type: none"> 踏み切り、手つき、着地、タイミング <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>体操で気づいたこと、腕立てとび越しで、さらに知りたいことはありませんか。</p> </div>	<p>1 運動動作を極限に近ずけさせる。</p> <p>2 各自の程度（能力）にあった「めあて」をもたせる。</p>	<p>緊張感 84 / 86</p> <p>反 応 75 / 86</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的なまとまりをとらせる。 ○ 個別に援助する。 ○ ローテーション方式での内容を分担する。 <ul style="list-style-type: none"> うさぎとび 向きかえとび（180°回転） 	<p>1 台上とび上りとびおりでは腕の支持とスナップに注意させる。</p> <p>2 向きかえとびは、高さや幅をかえるようにさせる。</p> <p>3 うさぎとびは1回ごとに正確にさせる。</p>	<p>反 応 84 / 86</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 分担指導をする。 ○ 組み分けを援助する。 <p>6. Aグループを対象にして、OHP、図解でよい馬のりを理解させる。</p> <p>7. 各自に努力点をもたせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・踏み切り、手つきのタイミング、手の突き放し、上体おこし </p> <p>8. グループ別による個別援助をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>わたしは、こんな点に注意したらうまくなるのだからなーと、いい人はいませんか。</p> </div>	<p>1 とび越しを3～4回させて、グループ分けをする。</p> <p>2 友だちの演技をよくみさせる。</p>	<p>反 応 53 / 61</p> <p>反 応 20 / 25</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ レコードをかける。 ○ 運動量について観察する。 ○ あとかたづけを援助する。 		<p>到 達 度</p> <p>A 16 / 28</p> <p>B 26 / 33</p> <p>C 22 / 25</p>